

江戸城別邸・濱御殿



承応3年1654年甲府藩主徳川綱重が

この地を拝領し、海を埋め立てて別邸を建てました。

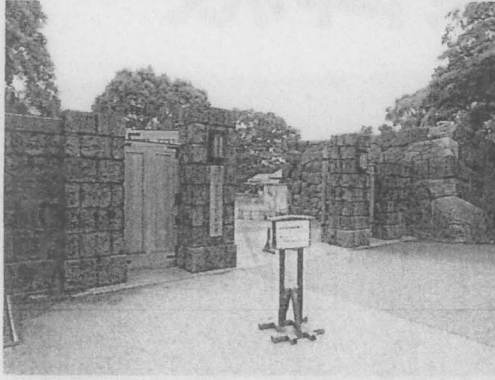
その後は甲府藩の下屋敷として使用されていました。このため

甲府浜屋敷、海手屋敷と呼ばれていました。甲府藩主綱重を継いだ徳川綱豊が6代将軍・家宣になったため甲府徳川家は絶家となり、ここが将軍家の別邸とされました。

浜御殿と改称して大幅な改修が行われ、茶園、火薬所、庭園などが整備されました。

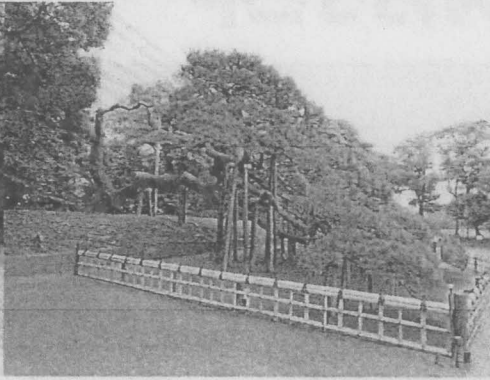
特に11代将軍家斉と12代将軍家慶の頃は、将軍の鷹狩り場でした。幕末には、幕府海軍伝習屯所でもありました。享保14年5月1729年、雄の象がベトナムから運ばれ、浜御殿の小屋で12年を過ごしました。慶応2年に着工した石造洋館が明治2年に外国人接待所「延遠館」として竣工しました。延遠館は、明治維新後も鹿鳴館が完成するまでは迎賓館として使用されました。その後、1923年の関東大震災と1945年の東京大空襲で、大手門や複数の御茶屋や樹木が焼失し、庭園自体も大きく損傷する被害を受けたのでした。

大手門



枡形門で、江戸城の門の形式と同じ。手前が高麗門、奥が渡り櫓門となっています。浜離宮の枡形、櫓台は、江戸城のどれよりも大きなものでした。

三百年の松



6代将軍徳川家宣のころ、植えられたといわれています。大名屋敷から将軍家の別邸＝浜御殿になって間もなくのことでした。

内堀



浜御殿には、内堀があります。この内堀には荷揚げ場の石段が残っています。江戸時代の堀の荷揚げ場の石段が残っているのはきわめて珍しく貴重です。

延遼館跡



1866年（慶応2年）に幕府の海軍所の施設として着工され、1872年（明治2年）に外国人接待所「延遼館」として竣工されました。

象の飼育舎跡



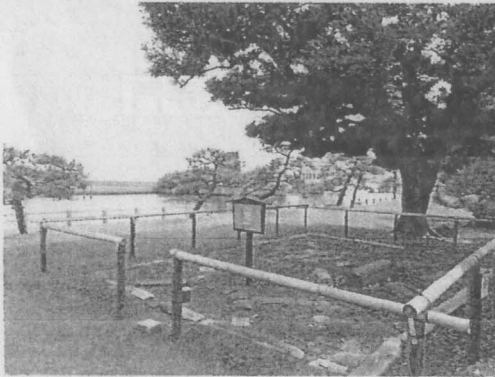
1728年（享保13年）に、8代将軍徳川吉宗の注文により、中国の貿易商によって、象が長崎から江戸にやってきました。

中島の御茶屋



中島の御茶屋は、1707年（宝永4年）に、6代将軍家宣によって建てられました。その後、1788年（天明8年）家斉が再建しました。

海手の御茶屋



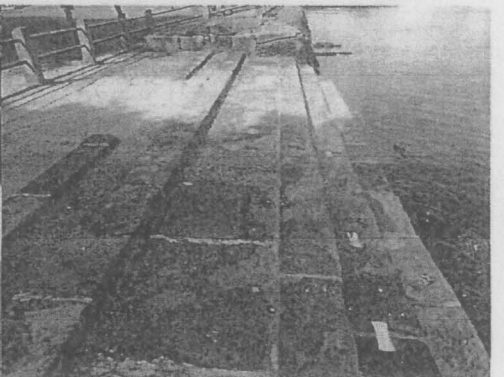
1707年（宝永4年）、6代将軍家宣が、舟遊びや漁夫達の漁の様子を見る為に建てた休憩所です。海手御茶屋は、現在は礎石が残されているだけとなりました。

庚申堂鴨場



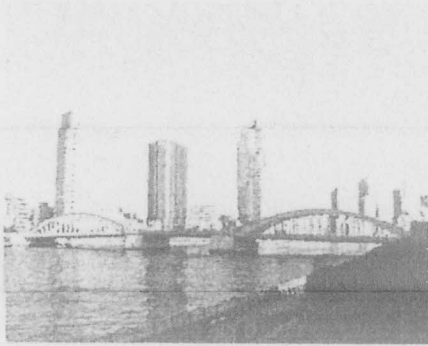
庚申堂鴨場と新銭座鴨場の2つがあります。前者が1778年、後者が1791年の築造という古いもの。鴨場というのは、野生の鴨などを狩猟するための施設です。

将軍御上がりの場



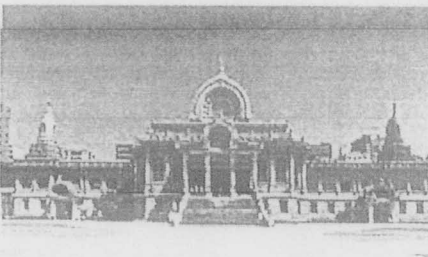
江戸城から船（御座船）で浜御殿に来た時など船を接岸していた場所。15代将軍慶喜が、鳥羽伏見の戦いに敗れて、大阪から江戸に逃げてきた場所でもあります。

⑥勝鬨橋



勝鬨橋は、昭和15年(1940)に隅田川河口部に築造された、国内最大規模を誇る可動橋。橋の中央部分を開いて大型船舶を通すことができる。勝鬨の名は、明治38年(1905)の日露戦争の勝利を記念して、築地と月島間に新たに設けられた渡し場である「かちどきの渡し」に由来している。交通不便を解消し埋立が進んでいた晴海や豊洲地区の開発支援のため建設された。

⑧築地本願寺



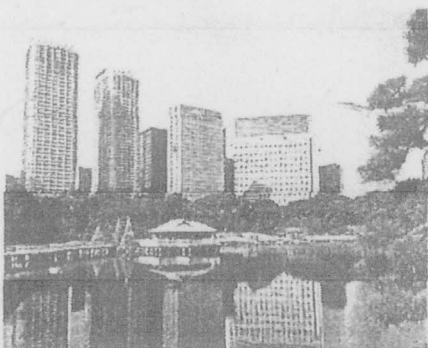
元和3年(1617)浅草に坊舎が建立された。1925年(寛永2)本願寺の別院として江戸幕府から公認された。明暦3年(1657)「明暦の大火」と呼ばれる大火事で坊舎を焼失してしまう。幕府の区画整理のため、もとの場所への再建がかなわず、替え地として八丁堀の海上が用意された。そこで佃島の門徒が中心になり、海を埋め立てて土地を築いた。それが「築地」という地名の由来となっている。平成24年(2012)、正式名称が「築地本願寺」と改められた。

⑨築地市場外



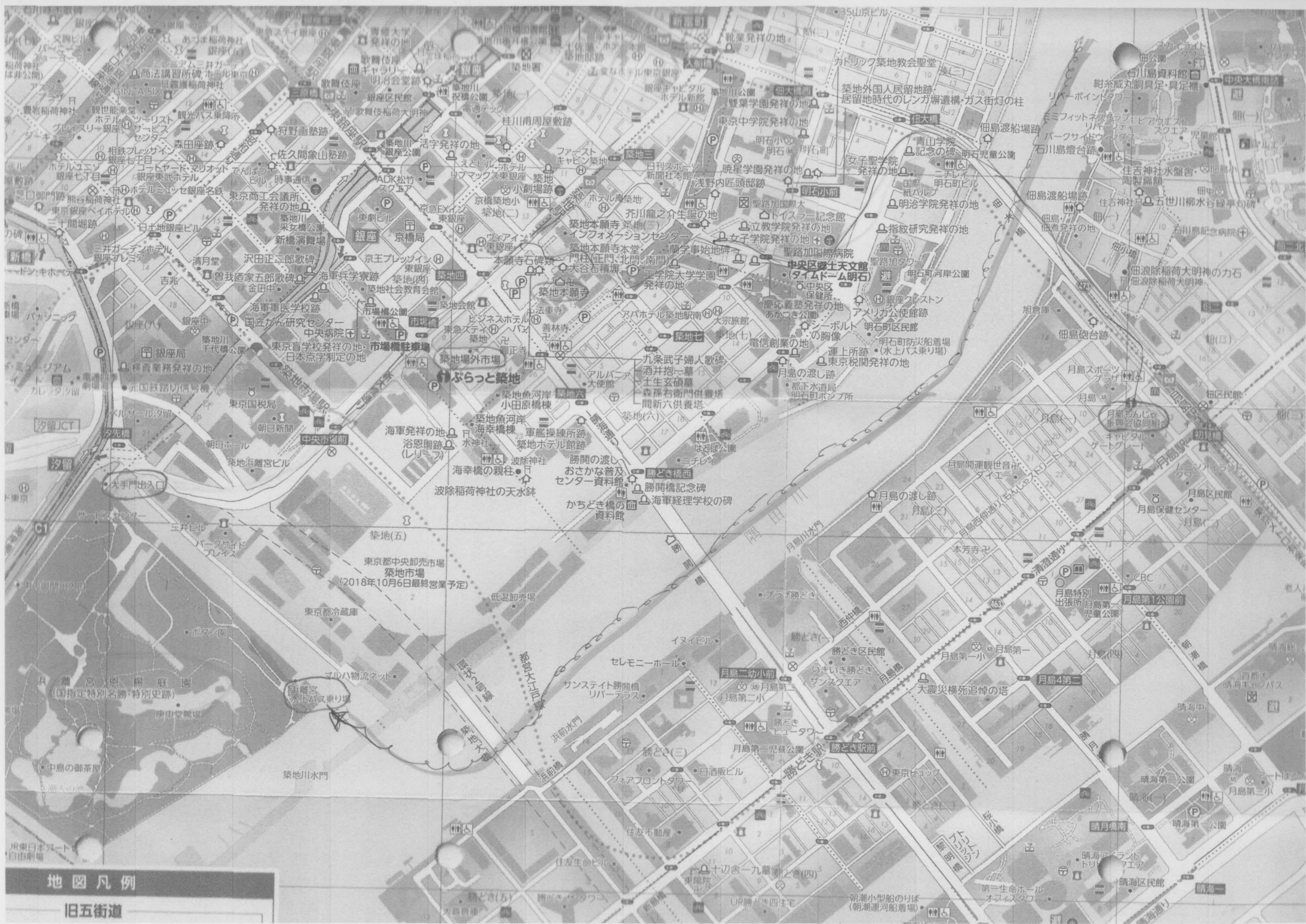
日本橋にあった魚市場と京橋にあった青物市場が移転し昭和10年(1935年)に開場した。戦後の復興、昭和30年代から昭和50年代にかけて施設の整備拡充を図り昭和60年代に入り、施設の老朽化が著しくなったため、移転整備へと方向転換。そして、狭隘化が著しく、流通環境の変化に対応できない状況等から、平成13年(2001年)12月に策定した第7次東京都卸売市場整備計画において、豊洲地区に移転することが決定した。

⑩浜離宮恩賜庭園



もともと将軍家の鷹狩り場だった。三代将軍家光の子である甲府宰相綱重が、将軍徳川家綱から拝領して下屋敷とし甲府浜屋敷と呼ばれるようになった。以降も歴代将軍によって幾度かの造園、改修工事が行なわれ、十一代将軍徳川家齊の時に、ほぼ現在の姿の庭園になった。さらに時が流れ明治3年(1870年)になると、今度は宮内省の所管となり浜離宮と改称し皇室宴遊の地となった。戦後一般に開放され、昭和27年には国の

特別名勝、特別史跡に指定された。



地凡例
 旧五街道